

授業科目名 <英訳>	医学基礎 II Basic Medicine II				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 福原 俊一 附属病院 特定教授 上嶋 健治					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	木2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

担当教員

細川 昌則（京都光華女子大学 健康科学部 看護学科 教授）神経生理学、解剖学
上嶋 健治（京大病院臨床研究総合センターEBM推進部特定教授）循環

コースの概要

生活習慣病などの疾病を学ぶために必要な医学的基礎知識として、循環系などの器官・器官系の生理機能と調節機構、老年性疾患、中枢神経系疾患の病態形成のメカニズムなどについて講義を行う。

学習到達目標（このコース終了時までには習得が期待できること）

- ・循環系について理解する
- ・神経系の構成と機能について理解する
- ・老化と老年病について理解する
- ・疾患のモデル動物について理解する

教育・学習方法

講義形式

[到達目標]

医療系学部等での該当する教育を受けていない学生向けに開講している科目である。社会健康医学系専攻における多様な研究活動を行っていくための基盤的な学びを得る。

[授業計画と内容]

- 第1回 10月 4日 循環器総論 ポンプとしての構造と機能を知る
第2回 10月 11日 循環器各論 1 構造的異常を知る：弁膜症・先天性心疾患と血管疾患の理解のために
第3回 10月 18日 循環器各論 2 構造的異常を知る：虚血性心疾患・救急医療の理解のために
第4回 10月 25日 循環器各論 3 機能的異常を知る：高血圧・不整脈の理解のために
第5回 11月 1日 老化と老年病学 1 老年性疾患の基礎を知る
第6回 11月 8日 老化と老年病学 2 老年症候群を理解するために
第7回 11月 15日 老化と老年病学 3 メタボリック症候群を理解するために
第8回 11月 22日 老化と老年病学 4 ロコモティブ症候群を理解するために
第9回 11月 29日 老化と老年病学 5 サルコペニアとフレイルティーを理解するために
第10回 12月 6日 病理学 1 炎症と組織の退行変性の基礎を知る
第11回 12月 13日 病理学 2 疾患モデル動物を知る
第12回 12月 20日 病理学 3 神経系の構造的異常を理解するために
第13回 12月 27日 病理学 4 神経系の機能異常を理解するために
第14回 1月 10日 神経科学 1 認知症の理解のために
第15回 1月 17日 神経科学 2 PVL（脳室周囲白質軟化症）の理解のために

医学基礎 II(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

平常点30%とレポート70%

【教科書】

教科書は特に指定しない。

【参考書等】

(参考書)

(参考書)

佐藤昭夫、佐伯由香編. 人体の構造と機能. 医歯薬出版,2006.

テイポドー、パットン(コメディカルサポート研究会訳).カラーで学ぶ解剖生理学. 医学書院, 2002.

A.シェフラー、S.シュミット(三木明德、井上貴央訳).からだの構造と機能. 西村書店,2002.

クロスマン、ネアリー(野村巖、水野昇訳)神経解剖カラーテキスト第2版. 医学書院,2008

生理学テキスト 大地陸男(著) 文光堂, 2013

標準生理学 福田康一郎(監修) 医学書院, 2014

Eric Kandel, James Schwartz 他 Principles of Neural Science, McGraw-Hill Professional; 5版, 2012

(日本語版) 金澤一郎, 宮下保司(監修), カンデル神経科学、メディカルサイエンスインターナショナル、2014

泰羅雅登、中村克樹(監修, 翻訳)カールソン神経科学テキスト脳と行動、丸善出版、2013

【授業外学習(予習・復習)等】

適宜予習復習を求める。

(その他(オフィスアワー等))

人間健康科学系専攻学生の受講可否: 可(教室の収容人数による)

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。